

議長記者会見（R4.3.23）

（報告）

お忙しいところ、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

まず、第309回定例会採決結果について、ご報告いたします。

知事提出議案がちょうど100件、そして令和4年度青森県一般会計予算を含む議案87件を可決・同意・承認し、報告のみが13件でした。

議員発議案については、提出された4件のうち2件を可決し、2件が否決となりました。

請願については、受理された1件が不採択となりました。

今定例会では、ロシアによるウクライナへの侵略に対して抗議する決議を議会冒頭の早い段階で全会派一致で提出させていただきました。

これは、知事選のからみで（閉会后となったため）提出できなかった石川県を除いて全国46都道府県全てで提出されており、県内各自

治体においても同様の決議文、抗議文が提出され、心を一つにしているところです。

私には、青森県北方領土返還促進協議会会長という立場もあります。2月7日には、岸田総理も出席した全国大会に動画の傍聴という形で出席いたしました。そのときには、まさかこういう事態になるとは思ってもみませんでした。

毎朝起きる度に、この戦争が早く終わってくれないかなという思いをしており、是非、全都道府県議会が提出したということを受け止め、一日も早い解決を望んでおります。

また、他県では一部クラスターが出て複数の議員が欠席したまま採決を行ったり、場合によっては、議会日程を変更を行うということもありました。

このような中、本県は、46名全員が出席し、自らの意思を起立又は着席という形で示すことができたというのは、大変うれしいことです。

ただ、まん延防止等重点措置が明けたとはいえ、県内まだまだ高止まりの状況にあります。これからも気を緩めることなく、6月議会に向けて、そしてまた日々の議会活動において、対策を万全に取っていきたいと思っています。

もうひとつ、3月11日で震災から11年を迎えた中で、議場においても黙祷を捧げさせて頂きました。

その直後に震度六強の地震が発生し、東北新幹線が現在ストップしている状態であります。観光等で、そしてまた就職、進学などで新幹線を利用される方々、大変不便されていると思います。JRはじめ多くの関係者の方々が一丸となって一日も早い全面復旧に向けて取り組んでくれるものと思っていますので、是非、再開される頃にはコロナの感染が収まって、我々も自由に行き来できるような状況ができることを望んでおります。

私からは以上です。

(質問)

○記者

コロナに関連して、昨年12月に導入した新たなレベル分類を決めた後の初めての定例会だったのですが、各議席の亚克力板を外して、発言者のところだけにしたことについて、特に不安などなく進行できたでしょうか。

(三橋議長)

その当時は、マスクに関して、布マスクやウレタンマスクの場合もありましたが、今回は、より感染予防・防止効果の高い不織布に統一していることもあり、そもそも、議場で私語を発するということがない訳ですから、亚克力板は取らせてもらいました。

実際に議員側に座っていると、いろいろ人が映り込んで、非常に見

にくい状況にあったので、少し見やすくなったのではないかと
思います。感染対策としても、ほとんど問題なく運営でき、この一ヶ月間
を乗り切れたと思っています。

(質問)

○記者

一部の方からは、感染者数が増えている状況で、アクリル板をとる
ということに、疑問を感じる方もいらっしやったみたいですが、前の
議長時からの継続性という意味で、ご相談とかはされたんですか。

(三橋議長)

いろいろと専門家の御意見も聞き、どういった場合には飛沫が飛ぶ
のか、どういった場合に感染するのか、当時わからなかった知見があ
る程度明らかになってきたことから、現実的な対応として、アクリル
板を外すこととしました。

(質問)

○記者

昨年11月に国勢調査の確定値が出て、前回は、議員定数等につ
いて専門の検討部会を設置して、協議が行われたと思うのですけれど
も、今回はそういったものはなさらないのでしょうか。

(三橋議長)

前回、定数、区割り等に関して特別に委員会を設けてやりましたけれども、本県としても、区割り等の検討委員会を作るのがいいのか、それとも、現行の形で行くのがいいのかということは、今後の議論になるとは思います。

少なくとも、本定例会ではコロナ対策を優先しなければならず、そういったものを作る状況にはなかったということで、今後の課題として取り組んでいくこととなります。

(質問)

○記者

次期県議選も、もう1年後に迫っており、スケジュールとして間に合わないという形になりますか。

選挙区がこうなるというのは、予め出しておかなければならない期間もあると思いますので。

(三橋議長)

新たに区割りを変えたとなったときに、いろいろな形で地域の方々に、広報活動をしていかなければいけないのですが、コロナ禍でそういった説明をできずに、区割りだけ変更するということが理解を得られるかどうかを含めて検討していかなければいけないと思います。